

発行：八戸市立市川中学校地域学校連携協議会

校長：馬渡教二 会長：小向龍悦

〈五戸八幡宮：轟木村與兵衛先祖也〉

前号では、鎌倉時代の永仁五年(今から718年前)に書かれた古文書である「五戸郷検注進状」に轟木の地名が墨書されていることを述べましたが、このほかに、轟木に関する記録として、現在の五戸町根岸にあるこの地方最古の神社と言われている「五戸月山正八幡宮」(通称:【五戸八幡宮】)にも「建立の由来記」が伝わっています。

それによれば、「貞応のころ(1222年:793年前)、鈴木與兵衛氏の先祖が当国三戸郡轟木村の風穴平に來住し、ここで八幡宮の尊像を守り続け、その後、永正4年(1597年:508年前)に南部家の御城代(城主に代わって城を守り、領地を治める人)である木村奎氏が五戸の根岸に社地を移した。」と書かれています。その最後の文は、「轟木村與兵衛先祖也」となっています。



〈風穴稻荷の鳥居・榎中〉



〈五戸八幡宮の正面上部〉



〈鈴木與兵衛氏の旧宅〉

※ 轟木にある鈴木與兵衛氏所有の風穴稻荷には、かつて五戸八幡宮が鎮座していました。また、與兵衛氏の旧宅は、八戸市内で一番大きな木造家屋だとのこと。

八戸市立市川中学校地域学校連携協議会教育コーディネーター：木村 隆一

参考資料：「五戸町史」「流れる五戸川」「新撰陸奥国誌」ほか

